

# 平成23年度林野庁予算

## 概算要求の概要

平成23年度予算の概算要求が8月31日財務省へ提出されました。林野庁関係予算要求・要望の概要を紹介します。

### 要求の概要

林野庁一般会計の要求・要望の

総額は、3042億円(対前年度比106%)となっており、公共事業費は2164億円(110%)、非公共事業費は879億円(97%)となっています。また、国有林野事業特別会計の概計は、歳入、歳出ともに総額4548億円(101%)、償還金を除く実質的な予算規模は1789億円(95%)となっています。

昨年12月に今後の森林・林業の進むべき方向性を示した「森林・林業再生プラン」が策定されました。林野庁では、平成23年度予算をその実現に向けた第一歩と位置づけ、主要な課題に対応する予算を要求しています。

路網整備、搬出間伐、施業集約化を軸として、今後10年間を目的に効率化かつ安定的な林業経営の基盤づくりを進め、林業の再生を通じて国土の保全、森林吸収源対策など森林の持つ多面的機能を持続的に発揮していく対策を実施していきます。

### 森林・林業の再生に向けて

1

森林管理・環境保全直接支払制度(仮称)

570(0)億円

注：( )は前年度

間伐等への支援は集約化して計画的な森林整備を行う者を対象に搬出間伐に限定するなど、意欲と実行力のある者に支援

●面的にまとまって計画的に行う搬出間伐等の森林施業とこれと一体となった森林作業道の開設を支援します。

【森林環境保全直接支援事業 537億円】

●施業集約化に必要な森林情報の収集、森林の現況調査、境界確認、施業提案書の作成・合意形成の活動を支援します。

【施業集約化促進対策 33億円】

2

森林づくり主導人材育成対策

8(0)億円

再生プランの実現には地域で実践する人づくりが不可欠

●地域の森林づくりの全体像を描く日本型フォレストや施業集約化の設計図を描く森林施業プランナーを育成します。

## 平成23年度 林野庁関係予算概算要求・要望の概要

### 1. 総括表

区分	平成22年度	平成23年度	対前年度比
	予算額	要求・要望額	
	百万円	百万円	%
公共事業費	197,004	216,356	109.8
一般公共事業費	187,030	207,380	110.9
治山事業費	68,833	60,845	88.4
森林整備事業費	118,197	146,535	124.0
災害復旧等事業費	9,974	8,976	90.0
非公共事業費	90,371	87,879	97.2
義務的経費	58,505	57,648	98.5
その他経費	31,865	30,231	94.9
総計	287,375	304,235	105.9

(注) (1) 上記のほか、農山漁村地域整備交付金により、森林基盤整備事業を実施(1,500億円の内数)。  
(2) 計数は、四捨五入のため、端数において合計とは一致しない場合がある。

### 2. 特別枠要望額(再掲)

「元氣な日本復活特別枠」要望の概要

項目	要望額(百万円)
森林・林業再生プラン推進総合対策	55,509
森林環境保全直接支援事業(公共)	53,741
森林づくり主導人材育成対策(非公共)	779
地域材供給倍増事業(非公共)	988

## 平成23年度 国有林野事業特別会計予算要求の概要

区分	平成22年度	平成23年度	対前年度比
	予算額	要求額	
	百万円	百万円	%
【歳入】			
国有林野事業収入等	33,527	31,242	93.2
一般会計より受入	152,033	145,335	95.6
地方公共団体工事費負担金収入	2,620	2,360	90.1
借入金	261,900	275,900	105.3
歳入合計	450,080	454,836	101.1
【歳出】			
国有林野事業費等	86,564	82,971	95.8
国有林野森林整備事業	53,342	52,823	99.0
治山事業	25,782	22,167	86.0
国有林野災害復旧事業費	2,902	2,602	89.7
国債整理基金特別会計へ繰入	280,480	293,264	104.6
予備費	1,010	1,010	100.0
歳出合計	450,080	454,836	101.1

注) 計数は、四捨五入のため、端数において合計とは一致しないものがある。

### 3

#### 「緑の雇用」現場技能者育成対策

58(0)億円

間伐や道づくりを効率的に行える現場技能者を段階的かつ体系的に育成

- 新規就業者の確保、育成、現場管理責任者等へのキャリアアップのため、トライアル雇用、OJT研修、キャリアアップ研修に必要な経費を支援します。
- 簡易で丈夫な森林作業道を作設するオペレーターを育成するための研修に必要な経費を支援します。

### 4

#### 地域材供給倍増対策

14(4)億円

「10年後の木材自給率50%以上」を目指すし、原木の安定供給の取組や木材産業活性化、公共建築物等への地域材利用拡大を推進

- 木材生産者の連携による原木供給のとりまとめやストックヤードを活用した仕分け・直送等の取組へ直接支援します。
- 水平連携構想の作成、工務店と連携した部材の共通化等の取組に対し支援します。

●地域が一体となつて取組む木造公共建築物の整備、整備資金の借入に係る利子助成、建築士へのソフトウェアの提供等地域材利用による実需拡大の取組を支援します。

●木材のトレーサビリティ制度に係る実証や環境貢献度の客観的な評価・表示等を推進します。

### 5

#### 林野公共事業（森林整備事業・治山事業）

2074(1870)億円

#### ① 森林整備事業

間伐等への直接支払制度の導入（再掲）や、簡易で丈夫な路網の整備を推進

- 集約化して計画的な森林整備を行うつ者を対象に、搬出間伐等の森林施業と森林作業道の開設を支援します。
- 簡易で丈夫な「林業専用道」「森林作業道」の規格等を新設し、これらに予算を重点化することで路網整備を加速化します。
- 生物多様性の保全などの観点から、地方公共団体が森林所有者等と協定を結んで行う針広混交林化などを推進します。

#### ② 治山事業

緊要度が高い箇所における重点的な

災害復旧対策や重要な水源地域に重点化した保安林の整備により安全・安心を確保

●甚大な災害発生箇所における復旧対策や事業の大括り化を通じた事業間の融通性向上等により、重点的かつ機動的な治山対策を推進します。

●流域保全の観点から、国土保全上重要な水源地域等において、自然災害等により機能が低下した保安林の整備を重点的かつ計画的に推進します。

#### 「元氣な日本復活特別枠」要望について

平成23年度概算要求では、デフレ脱却を含めた経済成長の実現、国民生活の安定・安全、「新しい公共」の推進など、元氣な日本を復活させるための施策に予算の重点配分を行う仕組みとして「元氣な日本復活特別枠」が設定されました。

この特別枠を活用して、前記の事業の

#### 平成23年度森林・林業対策予算概算要求の主要事項

森林・林業の再生に向けて ～元氣な森林を次世代へ～

